

西建協だより

299号

2019年
6月



令和元年度事業方針

平成が終わり新元号『令和』となり、新時代の幕開けに期待と希望を抱きつつも建設業と言う市場を注視すると二〇一九年をピークに建設市場は縮小、量から質へと需要転換が本格化すると建設業関連企業の経営陣が長期的な事業動向を推測しているように感じられます。

昨年同様に慢性的な人材不足は改善されず、働き方改革の推進に関しても懸念材料が多く具体的な打開策も見いだせていない状況であり、これらの現状を鑑みると量から質へ需要転換が本格化しても当組合が活動主体とする三多摩地域では、需要と供給のバランスが整わず、担い手の人材確保・育成がより困難になるのではと懸念しております。

また、平成と言う時代を振り返ってみる

令和元年度 全国安全週間

本週間 令和元年7月1日～7月7日
準備期間 令和元年6月1日～6月30日

スローガン

「新たな時代に PDCA みんなで築こう ゼロ災職場」

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施され以来「人命尊重」という崇高な基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ今年で92回目を迎えます。

わが国における労働災害は長期的には減少し、平成30年の死亡災害は前年を下回る見込みとなりました。しかし、休業4日以上死傷災害については、転倒災害の増加等により3年連続で、前年を上回る見込みとなっています。

業種別では陸上貨物運送事業や第三次産業で増加率が高く、事故の型別では「転倒」や熱中症に代表される「高温・低温の物との接触」で増加率が高くなっています。これらの要因としては基本的な安全対策が不十分なことによる災害の発生や、業種を問わず増加を続けている転倒災害が冬季を中心に発生していることが考えられます。

また、近年増加している高年齢労働者や、今後増加が見込まれる外国人労働者への対策をはじめとする、就業構造の変化及び働き方の多様化への対応などにも考慮した、日々の仕事が安全なものとなるような取組が求められているところです。

このような状況を踏まえ、事業場におかれましては、トップが自らの責務について認識し、更なる労働災害の減少が図られるよう積極的に安全衛生管理に取り組んでいただきますようお願いいたします。

青梅労働基準監督署

西多摩建設業協同組合

理事長 榎 森 厚 志

と全国各地で災害が多発し、想定外の局所的な集中豪雨被害も甚大なものでした。自然災害に対してもこれからの時代では想定内として対応可能な強固な街づくりが必要不可欠であり、防災減災に特化したインフラ整備の必要性が強く望まれております。多くの課題を抱えながらも私たちの東京はラグビーワールドカップを皮切りに、オリンピックパラリンピック開催に向け首都圏の活性化はさらにスピードアップして行く事と推測される

当組合も令和新时代を迎え、柔軟な対応とスピード感を維持し、地域社会から信用を得られる業界団体を目指して行く事が責務だと考えております。地域に密着した地場建設業者で構成された西多摩

建設業協同組合は、三多摩地域の安心安全な街づくりに貢献し、三多摩の未来を担い、地域から必要とされる組合を目標に建設業の社会的地位向上に努め、当組合の発展に寄与して参る所存です。

今後とも各委員会の活動を主体に組合員相互扶助の精神に基づき努力邁進して参ります。組合員皆様のご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

◇本年度重点目標

- 一、災害対策組織の強化および近隣組織との連携
- 二、組合員の技術力向上、スキルアップ講習会等の実施
- 三、労働災害撲滅の為、工事現場パトロール等の実施
- 四、組合活動の強化および社会的信頼を得る組織体制の拡充
- 五、暴力団等排除協議会の活動
- 六、新規組合員および賛助会員の確保
- 七、組合収益事業の拡充
- 八、社会貢献および組合活動に伴う広報の拡充

年	全産業の発生件数	全産業の死亡件数	建設業の発生件数
14	13	2	8
15	51	9	13
16	46	1	22
17	40	1	18
18	49	1	22
19	48	1	25
20	37	3	5
21	29	3	5
22	47	6	11
23	36	4	23

合同企業説明会開催にあたって

三多摩建設業連合会 実行委員長 岩浪岳史
去る五月二十九日、日本工学院八王子専門学校において三多摩建設業連合会含む三団体合同の企業説明会が開催されました。

二〇一四年十一月、パレスホテル立川で行われた第一回を皮切りに、時期と場所を変えて六回目の開催となった今回、同校の建築設計科・建築科(四年制)・土木造園科・電子電気科から百名を超える学生が三団体、三十六の企業を訪問致しました。

過去をひもとけば、昨年までの五回で約六〇名の学生を三多摩建設業連合会の会員企業へ送り込むことが出来ました。これまでも継続して結果を出せた背景には、東日本建設業保証(株)より真摯なアドバイスと助成金を頂けたことが大きく影響しております。この場を借りまして、衷心より御礼申し上げます。



四年半の間、人手不足の状態は変わらないものの、学生の就職活動に対する企業側のルールは変化の連続でした。三多摩建設業連合会の合同企業説明会実行委員会において、その都度柔軟かつ独自性に重きを置いた対策を講じて参りました。

その年度の反省も翌年度に活かして参りましたが、会員の皆様から度々ご指摘を受ける事項に開催時期の問題があります。就職活動のスケジュールが毎年前倒しされる中、五月末の開催は時期的に遅い、というご指摘です。ただ、一般的に遅いといえる五月末の開催こそが、我々が継続して結果を出せてきた秘訣であると自負していることも確かなのです。

(二面につづく)

(一面よりつづく)

中小建設企業にとって若年者入職のライバルとなる大手企業、ハウスメーカーはもちろん早い時期から長期のインターンシップ等で青田買いに近い活動を行っています。それらと長期間正面から勝負する事態を回避し、五月末のマッチングから短期間で内定まで漕ぎつけるスピード感。それこそが大資本に対して中小企業が優位に立てる、いわば「有効なグリッド戦略」なのです。

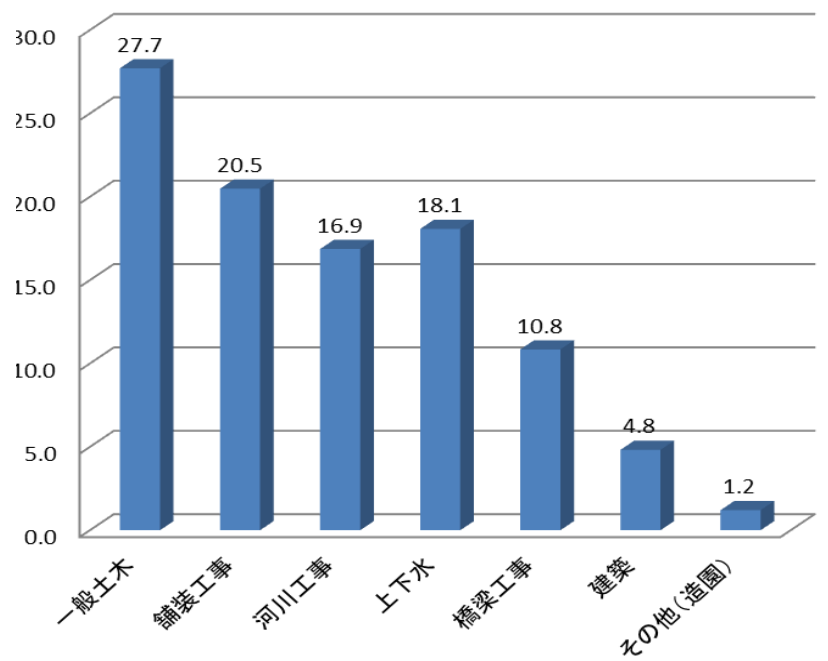
事実、弊社においては合同企業説明会で学生と対面してから現場見学会、面接を経て内定通達へ至るまで、要する時間は三週間以内です。最速の行動・決定が切れ目ない採用を継続できる最大の理由だと痛感しています。それ以外の工夫もごさいます。会員の皆様へ提供できる作戦としてご披露いたしました。何かしらの一助となれば幸いです。

合同企業説明会開催には西建協のみならず、(一社)北多摩建設業協会、(一社)南多摩建設業協会からも実行委員と事務局の皆様、何よりも日本工学院八王子専門学校職員の皆様にご多大なご尽力を頂いております。末筆ではございますが改めて御礼申し上げますと共に、来年度以降のご協力も重ねてお願い致します。



組合員アンケート結果 (5回) 広報委員会

各業者の得意工事の種類はこのようになりました。東京でも西多摩地区は市街地から山間地と幅が広いせいか、一般土木工事が舗装や上下水道を上回る結果となりました。



◇ あ と が き ◇

7月1日より7日まで、全国安全週間です。6月は、その準備期間となります。

建設業にとっては、現場の安全が最優先されますが、交通安全がいかに大切かも、再確認すべきでは無いでしょうか。

悲惨な交通事故のニュースが、放送されない日が少ないですよね。車を運転している限りは、いつ加害者になるかわかりません。事故を起こしてしまうと、自分とその家族の人生が一瞬で変わってしまいます。運転中は常に集中し、事故を起こさない運転に心がけたいものです。

40キロの速度で走行していたとして、くしゃみをして目を閉じた時、1秒間に約12メートル走行するそうです。携帯の着信を確認する動作、2秒だとして約25メートル走行するそうです。オーディオの操作をする、3秒だとして30メートル以上走行するそうです。

広報委員

5 月 事 業 報 告

- 10日 広報委員会 298号編集発行
- 13日 事業委員会
- 13日 総務委員会
- 22日 理事会
- 22日 第53回 通常総会 16時30分
会場 青梅市福祉センター 3階うめの間
- 28日 西建協若手経営者の会 定期総会

6 月 事 業 計 画

- 6月6・7日 西建協若手経営者の会 視察研修
視察先：大阪方面
大和川高規格堤防(スーパー堤防)他
- 7日 三多摩建設業連合会 定期総会 所：立川市内
- 10日 事業委員会
- 11日 広報委員会
- 13日 災害対策安全委員会
- 14日 建災防西多摩分会
14時～ 全国安全週間説明会
16時～ 令和元年度定期総会
会場：青梅市福祉センター 2階第1第2集会室
- 17日 総務委員会
- 18日 理事会

◇日建学院青梅認定校(西建協)からのご案内◇

受講生募集案内 『合格のための受験対策講座』

〈青梅校 2019 年度開講講座〉

- ◎1級土木施工管理技士実地コース 毎週 月・水
講義日程 7月中旬～10月下旬 18:40～
- ◎給水装置工事主任技術者講座 毎週 火・木
講義日程 7月下旬～10月中旬 18:40～
- ◎2級土木施工管理技士(学科・実地)コース 毎週 火・木
講義日程 6月下旬～10月中旬 18:30～
- ◎宅地建物取引主任者本科コース 毎週 水
講義日程 3月中旬～10月中旬
- ◎2級建築施工管理技士(学科・実地)コース 毎週 火・木
講義日程 8月中旬～11月上旬

西多摩建設業協同組合が「日建学院認定校」として青梅校を開講(10年目)致します。

会員企業の皆様からの受講問合せ(受講申込)等の連絡をお待ちしております。

*詳細説明は随時致します。

*先ず下記までお問合せ下さい。

連絡先 青梅認定校(西建協) 0428-22-6245 石川
日建立川校 担当：澤田 080-9349-3870